

令和7年度事業の概要

野中正法¹

1. 総合研究所の概要

当財団は、経営理念を「美らなる島の輝きを御万人へ」とし、調査研究・技術開発・普及啓発を総合的に進めるため、平成20年12月に「総合研究センター」を設立、令和5年6月より名称を「総合研究所」と改めた。

組織は、所長（今年度は空席）、統括、普及開発課、動物研究室、植物研究室、琉球文化財研究室、美ら島自然学校で構成され、調査研究関連職員33名の体制である。16名の外部研究顧問からのご指導のもと、調査研究、普及事業を展開している。

総合研究所は目標として以下を掲げている。

- ・ 産業振興への寄与
- ・ 環境問題への対応
- ・ 公園機能の向上

この目標及び研究所の指針を見直すため、今年度は3回の事業調整会議を開催、役員や財団各部署の統括からの意見を集約、令和8年度から12年度までの5年間においては、財団の管理施設に関する調査研究（公園機能の向上）に重点を置き、調査課題を設定することとなった。これについては第6期中期事業計画にも盛り込まれた。

2. 調査研究・技術開発事業

動物研究室では、沖縄周辺に來遊するザトウクジラに関し、国内外の大学・研究機関と連携し、個体数推定や遺伝構造の解明に関する研究などを推進した。また、環境DNAを用いた広域的な検出技術の開発により、沿岸生態系における種多様性の把握とその構造解明を進めた。

植物研究室では環境省などと連携し、県内各島にて調査、生息域外保全、野生復帰に関する技術構築を行った。また、沖縄の在来作物の資源収集、栽培試験を実施。沖縄のランを活用した園芸品種開発、緑化木の病虫害に関する調査研究も継続し、公園機能の向上を目指した。

琉球文化財研究室では、文化庁の補助事業「食文化ストーリー」を継続、島野菜アンケート調査や旧盆の行事食、琉球料理に関連する文献調査を行った。また、首里城の復元に関連し、黒朝衣の復元製作、久志間切弁柄の調査、製造を実施した。加えて、首里城火災により被災した

美術工芸品の修理と模造復元事業を実施した。

また、海洋文化調査においては、県内の伝統行事、生業活動、自然利用について現地調査を実施した。また、他地域との比較研究を行い、成果を論文等で発表した。

3. 普及啓発事業

財団が管理する施設を中心に講習会等を継続実施し、総合研究所の成果の普及に努めた。また、県内大学、専門学校等外部団体からの要請に応じ講師を派遣、人材育成等に貢献した。

熱帯ドリームセンターにおいて沖縄国際洋蘭博覧会の特別企画展「沖縄の珍しい野生ラン展～探査と保全の最前線！～」、ならびに沖縄県立博物館・美術館における企画展「ふわ ふか もぐ キラ 世界の珍しいタネ展」を開催し、標本の展示活用を図った。また、夏休みの自由研究の手助けを目的とした企画展「さがそう！自由研究のタネ」を、本年度も実施した。

旧名護市立嘉陽小学校跡地を活用した「美ら島自然学校」は7月に開校10周年を迎え、地域連携を強化、伝統行事への参加や商品の開発・販売などに取り組んだ。

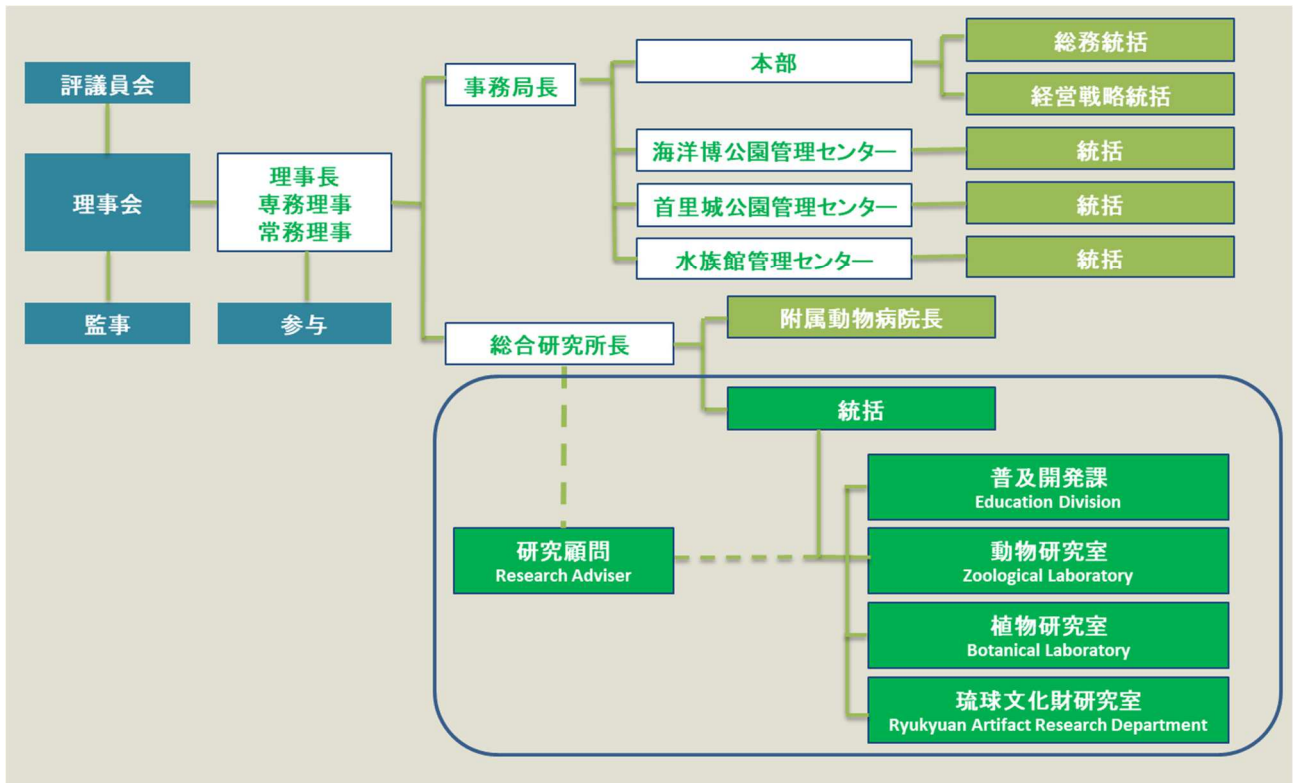
県内の世界自然遺産登録地における保全活動等の支援を目的とした世界自然遺産沖縄基金の基金造成のため、クラウドファンディングを実施した。また、国立自然史博物館沖縄誘致事業に参画、一般向け講演会などを実施した。

4. 外部評価委員会

今年度実施した調査研究及び普及啓発事業について、令和8年3月13日に課室ごとの外部評価委員会を開催、36件の事業について外部研究顧問より評価、助言を頂いた。国際的にも評価される成果が出ていること、他の機関や地域との連携による成果が出ていることが評価された。しかし、昨年の委員会での指摘により職員の増員を図っているにもかかわらず、未だ人員不足を指摘された。外部評価委員会の報告については、各委員会の座長に代わり3月30日の経営会議にて行われた。

¹総合研究所 統括

5. (一財) 沖縄美ら島財団の組織図



6. 研究顧問 (16名)

氏名	所属	役職	専門分野
池田孝之	琉球大学 特定非営利活動法人 沖縄の風景を愛さする会	名誉教授 理事長	都市・地域計画 風景・景観まちづくり
後藤 明	南山大学人類研究所	特任研究員	文化人類学 民族考古学
須藤健一	堺市立博物館 国立民族学博物館	館長 名誉教授	文化人類学 博物館学
亀崎直樹	岡山理科大学	元教授	ウミガメ生態学
Grant・エイブル	シンガポール・オーシャナリウム (リゾート・ワールド・センターサ)	ライフサイエンス部門 副部長	鯨類学
立原一憲	琉球大学	元教授	魚類学 魚類生活史学
仲谷一宏	北海道大学	名誉教授	サメ類分類学 サメ類生態学
西平守孝	東北大学 名桜大学	名誉教授	動物生態学 サンゴ礁生態学
上田善弘	ぎふワールド・ローズガーデン 広島県福山市役所	理事 世界パラ会議推進プロジェクトマネージャー	花卉園芸学 植物育種学 園芸文化論
佐竹元吉	昭和薬科大学薬用植物園薬用植物資源研究室	研究員	生薬学 天然物化学
高江洲賢文	JA おきなわ農業事業本部ファーマーズ推進部	アドバイザー	作物学 雑草生態学
花城良廣	(一財) 沖縄美ら島財団	前理事長	熱帯亜熱帯都市緑化植物 熱帯資源植物 熱帯民族植物
三位正洋	千葉大学	名誉教授	育種学 園芸学 植物細胞工学
高良倉吉	琉球大学	名誉教授	琉球史 沖縄学
西大八重子	生活文化研究所西大学院	学院長	琉球料理 茶道 暮らしの作法
宮里正子	浦添市美術館 沖縄県文化財保護審議会 沖縄県立博物館・美術館協会	前館長 委員 委員	琉球・東南アジアの漆芸

7. 各施設の概要

1) 所在地

総合研究所研究棟 沖縄県国頭郡本部町字石川 888 沖縄美ら島財団本部内
 美ら島自然学校 名護市嘉陽 41
 琉球文化財研究室 那覇市首里桃原町 1 丁目 13 番地
 同分室（琉球食文化） 那覇市久茂地 1 丁目 8-8 琉球料理美栄付 琉球食文化研究所内

2) 主な施設・設備等

名称	用途	備考
研究棟	鉄筋コンクリート地上 2 階。動物研究室、植物研究室の事務所、研究室、実験室、標本室等を備える。	地上 2 階 950 m ²
美ら島自然学校	沖縄本島東海岸の調査研究活動拠点、及び一般向け・学校向けの普及啓発事業の拠点として活用。	利用者 8,553 名/年
動物系実験室	DNA 解析、組織切片作成等の機器を備える。	
解剖室	ホイストクレーンを備え、大型動物の解剖にも対応。	
調査用車両	各種フィールド調査に利用。	普通車両 2 台
調査用ドローン	海洋調査、植物分布調査に利用。	陸上用 5 台 水中用 1 台
URM 魚類 標本コレクション	沖縄の魚類研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 60,000 点の 魚類標本
植物 標本コレクション	沖縄の植物研究・教育・展示目的での標本の貸出を実施	約 26,000 点の 植物標本
CT 画像診断検査 システム	海洋生物の健康管理に利用されるだけでなく、生物標本や、琉球文化財の非破壊内部調査にも利用。	獣医師および放射線技師が常駐
無菌操作室	無菌環境下で有用植物や希少植物の培養苗作成を実施。	クリーンベンチ 6 台を装備
培養育成室	ラン類（デンファレ、ファレノプシス、琉球列島産野生ラン等）、観葉植物類（ドラセナ、シダ類等）の培養株を保持。有用植物の大量増殖、希少種の保全。	約 15,000 株の 培養株
熱帯植物試験圃場	熱帯果樹・花木及び在来作物の試験栽培、都市緑化植物の栽培、野生の絶滅危惧種等の域外保全施設として運用。	約 11,000 株の 栽培株
琉球文化財研究 関連収蔵品	県指定有形文化財「白澤之図」、復元漆器「七宝繫密陀絵沈金御供飯」等を収蔵、琉球文化研究・展示に利用。	1,133 点
琉球文化財研究 関連図書	琉球文化、中国文化に関する図書を中心に収集。研究・展示に活用。入手困難な古書も含む。	8,407 冊

8. 総合研究所の研究スタッフ (33名)

役職	氏名	専門分野	資格	
統括兼上席研究員	野中 正法	八放サンゴ類の形態分類学、生態学	博士 (理)	
普及開発課 職員6名 兼任1名	課長	仲松 由美子	水生動物の教育普及、環境教育	
	主任	国広 潮里	珍無腸動物の分類学、生態学	博士 (理)
	主任	山崎 啓	保全生態学、環境教育学	修士 (海洋科学)
	主任研究員	辻本 悟志 (兼)	森林保護学、樹病学	修士 (生命農)
	主任研究員	木下 靖子	生態人類学 オセアニア海洋文化学	博士 (学術)
	主事	藤原 靖晃	森林保護学	
	主事	西口 峻平	ウミガメ類幼体の飼育管理	
動物研究室 職員6名 兼任5名	室長兼上席研究員	松本 瑠偉	軟骨魚類 (サメ・エイ類)	博士 (水産科学)
	上席研究員	松本 葉介 (兼)	漁業振興	
	上席研究員	植田 啓一 (兼)	小型歯鯨類の臨床獣医学	博士 (獣医)
	上席研究員	岡 慎一郎 (兼)	保全生態学・分子生態学	博士 (理)
	係長兼主査研究員	小林 希実	鯨類生態学、鯨類音響学	博士 (海洋科学)
	主査研究員	富田 武照	形態進化学、機能形態学	博士 (理)
	主任研究員	宮本 圭	魚類学、動物標本の管理	修士 (水産)
	主任研究員	岡部 晴菜	鯨類生態学	
	主任研究員	中島 愛理 (兼)	繁殖学、水生動物の臨床獣医学	獣医師
	主任研究員	笹井 隆秀 (兼)	爬虫類学	修士 (理)
	主事	安里 瞳	爬虫類学	博士 (理)
植物研究室 職員6名 兼任3名 契約職1名	室長兼上席研究員	阿部 篤志	森林生態学	学芸員
	上席研究員	米倉 浩司	植物分類学、植物地理学	博士 (理)
	上席研究員	峯本 幸哉 (兼)	蔬菜園芸学	修士 (園芸)
	係長兼主査研究員	砂川 春樹	園芸学、作物生理学	博士 (農)
	主査研究員	佐藤 裕之 (兼)	園芸学、育種学	修士 (園芸)
	主任研究員	野原 敏次	農芸化学	修士 (農)
	主任研究員	辻本 悟志	森林保護学、樹病学	修士 (生命農)
	主任研究員	松原 智子 (兼)	果樹園芸学、菌根菌	博士 (農)
	主任研究員	数馬 恒平	天然物化学、生薬化学、植物化学	博士 (農)
	契約職員	徳原 憲	植物細胞工学	博士 (農)
琉球文化財 研究室 職員7名	室長兼上席研究員	幸喜 淳	民俗学、伝統建造物塗装	修士 (民俗)
	係長兼主査研究員	宮城 奈々	染織史、織物作家	博士 (人文)
	主任研究員	久場 まゆみ	民俗学、年中行事、祭祀組織	修士 (造形)
	主任研究員	鶴田 大	日本美術史、東洋美術史	修士 (美術史)
	主事	高嶺 瑞貴	漆芸	修士 (造形)
	主事	幸喜 明子	紅型、保全環境	修士 (造形)
	主事	嘉手苺 なつき	人材育成	

9. 外部資金獲得実績

1) 調査研究費

動物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
文部科学省 (日本学術振興会)	「サメは光を盗む」説：人工子宮を用いた検証実験	富田武照
文部科学省 (日本学術振興会)	魚類における部分的内温性の生態的意義解明	渡辺佑基 (分担者：松本瑠偉)
文部科学省 (日本学術振興会)	ウミガメ孵化幼体の表現型に孵卵条件が及ぼす影響と機構を解明して保護活動に寄与する	斉藤知己 (分担者：河津勲)
文部科学省 (日本学術振興会)	深場サンゴ礁域「ラリフォティックゾーン」に生息する魚はなぜ蛍光するのか？	宮本 圭
文部科学省 (日本学術振興会)	環境 DNA によるサンゴ礁性魚類の網羅的把握：熱帯域の生物多様性研究と保全の新展開	岡慎一郎
文部科学省 (日本学術振興会)	過酷環境における「夏眠様反応」による体液制御法の開発	植田啓一
文部科学省 (日本学術振興会)	体温勾配と心電図計測による害音声魚類の熱交換モード切替メカニズムの解明	松本瑠偉
文部科学省 (日本学術振興会)	前ゲノム解析と個体識別情報を融合した新手法によるザトウクジラの繁殖生態の解明	小林希実
文部科学省 (日本学術振興会)	高水温が大型回遊性板鰓類に与えるストレス反応と指標の解明	松本瑠偉
MUFG 助成金	バイオリギング技術と非侵襲的 DNA 採取法を用いた鯨類の保全と地域産業の両立に向けた包括的研究	小林希実

植物研究室

助成元	研究テーマ	代表者
(公社)農林水産・ 食品産業技術振興協会	メーオーパ種苗資源の保護についての取組	野原敏次
公益信託宇流麻学術研究助成基金	樹木傾きセンサーの有効性に関する調査	辻本悟志

2) 受託調査事業等

普及開発課

発注元	受託業務名
沖縄県	令和7年度国立自然史博物館誘致推進事業広報委託業務
沖縄県	令和7年度国立沖縄自然史博物館誘致推進広報業務
日本学術振興会	アジア、オセアニア、マダガスカルにおけるデンブシ食料源としての大型サトイモ科植物
日本学術振興会	在来知を生かした多様な生物と共生する里山里海地域の構築

植物研究室

発注元	受託業務名
(一財) 自然環境研究センター	令和7年度維管束植物3種の生息域外保全及び野生復帰技術の検討・開発業務
(公社) 日本植物園協会	「令和7年度希少野生植物の生息域外保全検討実施委託業務」のうち「種子保存に関する検討」に関する業務
(株) 沖縄環境保全研究所	「令和7年度希少野生生物保護推進事業委託業務」のうち「令和7年度ナゴラン保護増殖委託業務」
農林水産省	令和7年度農林水産研究の推進（委託プロジェクト）に関する協定書の締結および委託事業
(株) 海邦総研	令和7年度工芸原材料確保に向けた産地支援業務
中城村	中城村試験圃場栽培指導・研究委託業務

琉球文化財研究室

発注元	受託業務名
沖縄県立博物館・美術館	令和7年度琉球王国文化遺産集積・再興事業復元業務
株式会社国建	首里城北殿復元設計業務
株式会社国建	令和7年度首里城復興基金事業制作検討業務
文化庁	令和7年度文化芸術振興費補助金「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業
沖縄県	令和7年度首里城歴史文化継承基金事業